

# 誠美だより

# 10

2015/OCT  
誠美保育園

## 絵にならない絵

ここ数年の雨天屋内開催に、季節そのものが大きく変わりつつあるのかなと心配していた運動会。さわやかな秋空の下、みんなで原っぱに集合できたのは、なんと4年ぶりの事。9月に入り、当日の晴天が確実視されるにつれ、すっかり屋内開催が染み付いてしまった事を実感しながら、記憶を辿るように？準備を進めてまいりました。保護者の皆さんも、それぞれの思いでご覧いただいた事と思います。

そんな園内を掛け巡る思いとは関係なく、日常はいつも通りに進んでいくもので、9月の初旬にとある勉強会に顔を出してきました。コスモスが咲き乱れる中、黒ずんで頭を垂れたヒマワリが点在する場内は、今のこの瞬間、夏の終わりと秋の始まりが交差しているのだということを教えてくれているようでした。保育園関係者とどまらず、子どもに関わる様々な分野の人間が集い語り合うこの会では、色々な立場の方々に新たな気づきももらうことができました、とても有意義な場になりました。

その中で、お一人のおもちゃ作家から、

とても考えさせられる話を聞きました。彼は、絵画、造形活動を通して子どもや親子関係を見つめ直す活動を続けている著名な作家です。

ある小学校教諭が、クラスの子どもたちの描いた絵画を見て欲しいと彼のもとを訪ねて来たそうです。「春を探そう」というテーマで屋外で写生した作品を、一枚一枚捲っていると、ひとつだけ白紙の画用紙が。「その子は、どうしても描いてくれなくて。」と嘆く担任の傍で、あらためて画用紙を眺めていると、画面の端に汚れのようなものが付いている事に気づいたそうです。そこを注意深く観察してみると、それはどうやら「花粉」で付けた指紋の跡のようでした。

「ほら、この子は描いているよ。」  
彼は指紋を指さし、担任にそう声を掛けましたそうです。

表現活動というのは、本当に難しいものだなと思います。そこに見て感じたものを表してみようとする「気持ち」と、それを具体化する「イメージ力」、そしてそのための道具を使いこなす「技術」などを同時に成立させる事を期待するからです。

もちろん、「写生」というからには、絵

筆をうまく使いながら、誰にでもわかる形を表現してほしいという期待はその通りなのですが、同時に「春を探す」という課題も存在するわけです。もしこの指紋が、その子が付けたものであるなら、それは何かを感じて、動こうとしている兆しの跡なのかもしれません。まずはそこを拾い、そのことを子どもと語り合う事から始めてみよう、このエピソードはそんな事を語っているように感じました。

同じ頃、負けじと？別の研修会へと向かっていた職員から、こんな報告がありました。

会の冒頭、「10円玉の模様を思い出して描いてみてください。」との講師からの投げかけが、四苦八苦しながら何とか図柄を絞り出そうとする参加者のようすが目に浮かびます。すると講師から「普段目している筈の図柄も正確には描けないもの。つまり、人は見ようとしなければ見えないという事。」…そんな話から講義がスタートしたそうです。

「表現できないあなたは、見ていないのと同じだ。」と言われるのは、先の「見たものの、感じたものを表現しよう」という

子どもの活動に比べ、大人への課題はさすがに厳しいものだなと感じます。子どもを「見る」ことを生業とする私たち保育者には、尚の事、身につまされる話です。

ならば反対に、「表現しようとするれば、きつと見ようとするのではないか。」と考えてみる事はできないでしょうか。普段私たちが子どもの活動や育ち・字びを表現しようとしている、園内の様々な掲示や便りなどが、実はこれを目指しているようにも感じます。これらは、ご家庭に保育内容をお伝えすると同時に、実は保育者自身の子どもを「見る」力を育ててくれる大切なものとも考えられるのです。

そして今、子どもたち個々の育ちをもっとお届けしようと、もう一つの「表現」の準備を進めています。かぜグループ（3）

カレンダー	
10月	4 (日) 運動会
	6 (火) 発育測定 (O12)
	7 (水) 発育測定 (K)
	8 (木) 乳児健診
	13 (火) 防災訓練
	27 (火) 誕生会

5歳児）から試行的に実施してまいりますので、もししばらくお待ちください。

さて、最後にもう一度。運動会の光景を思い出してください。そこに描かれたものは何ですか？

園長 折井誠司

## 修繕工事は階段ホールへ

おかげさまで0歳児室が完了し、天井・壁紙・照明の修繕を中心に階段ホールに取り掛かっており、最後の2階アラス部分を残すのみとなりました。もうしばらくご不便をお掛け致しますが、よろしくお願い致します。

遊歩道側の増築については、屋根も葺き上がり、いよいよ内部の作り込み入ってきます。

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 印刷所 折井誠司
- 発行人 誠美保育園
- 発行所 誠美保育園

社会福祉法人 誠美福祉会  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2

電話 042-6775-1555

ファックス 042-6777-5643

Email seihohokuen.jp

http://hokuen.jp/